

● Title: **BurroughsWeb**

● タイトル: ハウズウェブ

● 年代 (2002)

● Artist: **Kouichirou Eto**

● 作家: 江渡浩一郎 (日本)

**作品の概要**

二つのブラウザの間で、言葉を入れ替えてしまうという作品です。おかくとりすましたホームページもたちまち不条理キョウの宝庫と化してしまうという痛快さ。そこには、ウェブというデジタルメディアの不確かさと混沌とリティ、その可能性と弱点の両方が切り取られていると見ることもできるでしょう。

**このデモについて**

2つのブラウザ-それぞれに、好きなURLを入力して、どんな言葉に変換されるか試してみましょう。

**使い方のポイント**

1) 左側のブラウザ-では、できるだけ「やわらかい」ウェブサイト (例えば、個人のホームページ、雑談系のページなど)

2) 右側のブラウザ-では、できるだけ「かたい」ウェブサイトを見てみてください。 (例えば、官公庁、大学のホームページなど)



3) ページが表示されたら、よく画面を見てみましょう。文章をよく読んでみると面白さが伝わってくるかもしれません。

\*日本語のページにしか対応していません。

**Profile**

江渡浩一郎(えと・こういちろう) ●1971年生まれ。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。メディアアーティスト。sensoriumプロジェクト「WebHopper」(1996)。岩井俊雄×坂本龍一のコンサートMPIxIPMIにおけるパフォーマンス「RemotePiano」(1996)。Canon ARTLABとの共同制作「SoundCreatures」(1998)。日本科学未来館「インターネット物理行」(2001)。